

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 山形V. カレッジ
設置者名	学校法人山本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業関係専門課程	A I ・ 情報システム科	夜 ・ 通信	9 単位	6 単位	
	I C T クリエイト科	夜 ・ 通信	6 単位	6 単位	
	建築科	夜 ・ 通信	6 単位	6 単位	
文化・教養関係専門課程	ファッション・プロモート科	夜 ・ 通信	6 単位	6 単位	
	医薬事務・企業会計科	夜 ・ 通信	8 単位	6 単位	
	医療事務科	夜 ・ 通信	3 単位	3 単位	
	公務員科	夜 ・ 通信	3 単位	3 単位	
	アロマケアサポート科	夜 ・ 通信	7 単位	6 単位	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.ycb.ac.jp/school/open/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 山形V. カレッジ
設置者名	学校法人 山本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人事務局にて閲覧者の制限を設けずに公表している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	山本学園同窓会 竹朋会 会長	令和7年5月29日～ 令和11年定時評議員 会終結時	組織運営体制への チェック機能
非常勤	企業 代表取締役会長	令和7年5月29日～ 令和11年定時評議員 会終結時	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 山形V. カレッジ
設置者名	学校法人山本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
全科目において授業計画(コマシラバス)を年度開始までに作成し、HP 上で公表している。 また、年度開始時(授業開始前の)オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画(コマシラバス)を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画(コマシラバス)と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。	
授業計画書の公表方法	https://www.ycb.ac.jp/school/open/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C D の 4 段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 個人ごとに評定と単位数を数値化し、学科ごとに順位付けした成績一覧表を作成。HP上で公開している。 成績評価は科目ごとにA B C Dの4段階で評価する。Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点として学生個人の全科目の平均点を求め、学科ごとに順位付けし、その分布表を公開している。(GPA)	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ycb.ac.jp/school/open/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、及び取得単位数が64単位以上であること。(1年課程は32単位以上)これを学生に公表しHP上で公開している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ycb.ac.jp/school/open/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 山形V. カレッジ
設置者名	学校法人山本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ycb.ac.jp/school/open/
収支計算書又は損益計算書	https://www.ycb.ac.jp/school/open/
財産目録	学校法人事務局にて閲覧者の制限を設けずに公表している。
事業報告書	学校法人事務局にて閲覧者の制限を設けずに公表している。
監事による監査報告（書）	学校法人事務局にて閲覧者の制限を設けずに公表している。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業関係専門課程	A I ・ 情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	64 単位	28 単位	41 単位	4 単位	0 単位	0 単位
			73 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
22 人		11 人	7 人	1 人	4 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C D の4段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。

1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 （100.0%）	0人 （0%）	5人 （100.0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ※ 製造業・サービス業・情報通信業			
（就職指導内容） 年間を通じた就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。その他、業界を理解するために、企業人講話、卒業生講話も計画する。特に技術力を要する職種なので、2年間で技術者としての力を育成する。個別面談を行い、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ITパスポート試験 Webクリエイター能力認定試験スタンダード 他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	1人	9.1%
（中途退学の主な理由） ・経済的な理由のため ・学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による個別指導		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業分野		工業関係専門課程	I C Tクリエイト科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	64 単位	25 単位	32 単位	6 単位	0 単位	9 単位	
			72 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人		6 人	0 人	3 人	5 人	8 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C D の 4 段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V．カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） 保護者と密に連携。 学生と定期的な連絡、面談の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 （ 100 %）	0 人 （ 0%）	2 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 印刷業 サービス業			
（就職指導内容） キャリア実習という科目を取り入れ、1 年次、2 年次ともにインターシップ、ボランティア、アルバイトのいずれかを、年 4 8 時間実施することを進級、卒業要件としている。それにより、適職の早期発見、社会との関わりを身につける。 また個別面談を実施し、学生の要望を把握するよう努め内定を目指す。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験合格 Web クリエイター能力認定試験合格 マルチメディア検定合格 カラーコーディネーター検定合格 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
6 人	2 人	33.3%
（中途退学の主な理由） 学費未納による除籍		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による個別指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業関係専門課程	建築科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	64 単位	52 単位	6 単位	6 単位	0 単位	0 単位
			64 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
8 人		2 人	0 人	1 人	7 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 専門性を活かせる職種に就けるよう指導			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) （任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
2 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による個別指導		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	ファッション・プロモート科 (ファッションデザイン専攻)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	64 単位	18 単位	4 単位	42 単位	0 単位	0 単位
			64 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
ファッション・プロモート科の内数 6 人		1 人	0 人	ファッション・プロモート科の内数 1 人	ファッション・プロモート科の内数 11 人	ファッション・プロモート科の内数 12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 （ 100.0 %）	0 人 （ 0 %）	0 人 （ 0%）	1 人 （ 100.0 %）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 年間を通した就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアアップランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。その他、業界を理解するために、企業人講話、卒業生講話も計画する。個別面談を設け、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術検定上級 合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制による個別指導の徹底		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	ファッション・プロモート科 (きものコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	64 単位	18 単位	2 単位	44 単位	0 単位	0 単位
			64 単位時間／単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
ファッション・プロモート 科の内数 6 人		0 人	0 人	ファッション・プロモート 科の内数 1 人	ファッション・プロモート 科の内数 11 人	ファッション・プロモート 科の内数 12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100.0%)	0 人 (0%)	1 人 (100.0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 飼育管理スタッフ			
（就職指導内容） 年間を通した就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。個別面談を設け、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Photoshop クリエイタースタンダード合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	ファッション・プロモート科 (フラワーデザインコース)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	64 単位	22 単位	4 単位	38 単位	0 単位	0 単位
			64 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
ファッション・プロモート科の内数 6 人		0 人	0 人	ファッション・プロモート科の内数 1 人	ファッション・プロモート科の内数 11 人	ファッション・プロモート科の内数 12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 年間を通した就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。個別面談を設け、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) B 検ジョブパス合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	1 人	100.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による個別指導		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	医薬事務・企業会計科 (医薬事務コース)		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	64 単位	29 単位	18 単位	17 単位	0 単位	0 単位	
			64 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
医薬事務・企業会計科の内数 2 人		0 人	0 人	医薬事務・企業会計科の内数 3 人	医薬事務・企業会計科の内数 4 人	医薬事務・企業会計科の内数 7 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C Dの4段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） 入学時、学期の切り替わり時期に個別面談を行う他、2年次進級前に三者面談を行い、進路希望・学校生活状況などを聞き取り、適宜アドバイスを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	医薬事務・企業会計科 (企業会計コース)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	64 単位	37 単位	18 単位	9 単位	0 単位	0 単位	
			64 単位時間／単位					
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
医薬事務・企業 会計科の内数 2 人		2 人	0 人	医薬事務・企業 会計科の内数 3 人	医薬事務・企業 会計科の内 数 4 人		医薬事務・企業 会計科の内 数 7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C Dの4段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） 入学時、学期の切り替わり時期に個別面談を行う他、2年次進級前に三者面談を行い、進路希望・学校生活状況などを聞き取り、適宜アドバイスを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 年間を通した就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。するために、個別面談を設け、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記合格 EXCEL 表計算技能検定合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生生活、出席状況にも目を配り、必要に応じて個別の面談を設ける。 保護者との相談も併行して実施する。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程		医療事務科					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	32 単位			13 単位	9 単位	10 単位	0 単位	0 単位
					32 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
4 人		1 人	0 人		3 人		4 人		7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V．カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） 入学時、前期末、後期開始時に個別面談を行う他、前期中に三者面談を行い、進路希望などを聞き取り、そこに向けての学習計画についてアドバイスしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 （ 100.0 %）	0 人 （ 0 %）	3 人 （100.0%）	0 人 （ 0 %）
（主な就職、業界等） 医療事務			
（就職指導内容） 年間を通した就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施している。するために、個別面談を設け、本人の適性と意志を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 調剤事務管理士合格 医療事務技能認定試験合格 EXCEL 表計算合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		文化・教養 関係専門課程	公務員科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	32 単位	19 単位	12 単位	1 単位	0 単位	0 単位
			32 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 人		1 人	0 人	2 人	5 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに授業の方法及び内容、到達目標などの説明を実施している。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ＡＢＣＤの４段階評価を行っている。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定している。 専門学校 山形V．カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が64単位以上であること。（1年課程は32単位以上）これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生個々の状況把握に努め支援している。 学生や保護者との個別面談を実施し、学校生活について支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 （ 100.0 %）	0 人 （ 0.0 %）	1 人 （ 100.0 %）	0 人 （ 0.0 %）
（主な就職、業界等） 地方自治体（行政職）			
（就職指導内容） 年間を通じた就職支援計画（ビジネス実務）内で、外部講師による自己分析、キャリアプランニング、ディスカッショントレーニング等を実施。業界を理解するために、校内ガイダンスやOBOGによる講話会を実施。個別の面談を設け、本人の適性と意思を尊重しながら就職活動の支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公務員採用試験 1 次合格率 100%			
（備考）（任意記載事項） 公務員採用 1 次試験においては、2017 年度・2018 年度・2020 年・2021 年・2022 年・2023 年・2024 年に合格率 100%を達成した。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談をこまめに実施し、学校生活、出席状況などに目を配っている。 保護者面談を実施し、家庭との密な連携を取っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養分野		文化・教養関係専門課程	アロマケアサポート科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	通信	60単位	49単位	0単位	9単位	0単位	2単位
			60単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3人		0人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全科目において授業・学習計画（コマシラバス）を年度開始までに作成し、HP上で公表している。 また、年度開始時（授業開始前の）オリエンテーションにおいて、本校学生には在籍する学生に授業・学習計画（コマシラバス）を配布し、クラスごとに単位履修の方法及び内容、到達目標などの説明を実施する。成績評価の方法や基準については、別紙「学生の手引き」を学生に配布し公表、授業・学習計画（コマシラバス）と同様に、オリエンテーションにて説明・周知する。
成績評価の基準・方法
（概要）期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、A B C Dの4段階評価を行う。学業成績の評価・評定法並びに進級及び卒業の認定に関する規則に掲載。 試験に関しては、「試験に関する規則」に基づき実施する。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業認定に関する基本的な方針を定め、HP上で公表し、卒業を認定する。 専門学校 山形V. カレッジは、本校教育目標に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業証書を授与する。 1 地域・企業・人と人とのつながりを尊び、地域と国家に社会貢献できる能力 2 実践的学習により社会常識・専門知識を習得し、職業への高い意識を持ち、産業界で活躍できる能力 3 自分自身の可能性を信じて前進し、常に自己啓発に努め、未来の仕事を創造して発信できる能力 単位修得としては全授業科目の評定がC以上であること、および取得単位数が60単位以上であること。これを学生に公表しHP上で公開している。
学修支援等
（概要） クラス担任制を取り、学生の状況に応じて、個別相談、保護者との相談・面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) （任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
A I ・ 情報システム科	180,000 円	720,000 円	420,000 円	その他： 施設充実費、 実習・演習費
I C T クリエイト科				
建築科				
ファッション・プロモート科				
医薬事務・企業会計科				
医療事務科				
公務員科				
日本語学科	65,000 円	696,000 円	42,000 円	その他：施設費
アロマケアサポート科	50,000 円	300,000 円	—	
修学支援（任意記載事項）				
・山本竹司育英奨学金：人物・学力ともに優れ、かつ家計の事情により就学が困難と認められる者に対して給付する。（月額 15,500 円）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ycb.ac.jp/school/open/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校関係者評価委員会は企業等委員、地域住民、卒業生、学校法人山本学園の設置する当該校以外の教職員等で構成される。地域住民等への説明責任を果たし、ご理解とご協力を得、目標の設定（自己点検項目）と達成状況、取り組み状況とそれに対する検証結果、次年度に向けての改善の方策、学校の P R ポイントや運営の改善点等についてご意見やご指導をいただき、学校運営の組織的・継続的な改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
副理事長、ペピー保育園園長、竹田西部幼稚園副園長、法人企画室室長	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	学園関係者
惺山高等学校校長	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	学園関係者
山本学園同窓会竹朋会会長 (旧竹田家政専門学校同窓会)	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	卒業生
㈱大久保硝子店 代表取締役会長	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	企業等委員
安孫子総合法律事務所 弁護士	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	企業等委員
専門学校山形 V. カレッジ同窓会 「清山会」会長	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	卒業生
山本学園同窓会竹朋会副会長・ 山形市西消防署	令和 7 年 5 月～ 令和 8 年 4 月	卒業生・企業等委員

学園本部事務局長	令和7年5月～ 令和8年4月	学園関係者
旧竹田家政専門学校卒業生 竹田和哉研究所事務長	令和7年5月～ 令和8年4月	卒業生・学園関係者
ピーウィー保育園施設長	令和7年5月～ 令和8年4月	学園関係者
惺山高等学校 全日制課程 教頭	令和7年5月～ 令和8年4月	学園関係者
竹田西部幼稚園総務主任	令和7年5月～ 令和8年4月	学園関係者
惺山高等学校 通信制課程 教頭	令和7年5月～ 令和8年4月	学園関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.ycb.ac.jp/school/open/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.ycb.ac.jp/school/open/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H106320171056
学校名（〇〇大学 等）	専門学校山形V.カレッジ
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人山本学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	－（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅲ区分	0人	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－（ 0 ）人
合計（年間）				－（ 0 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。